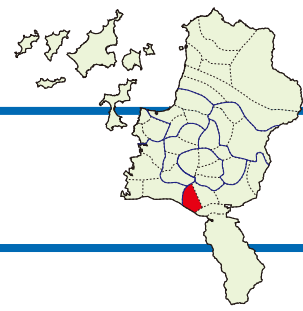


いし いにし
石井西地区

面積：4.54 km²
人口：29,067人（高齢化率 23.3%）
世帯数：13,793 世帯

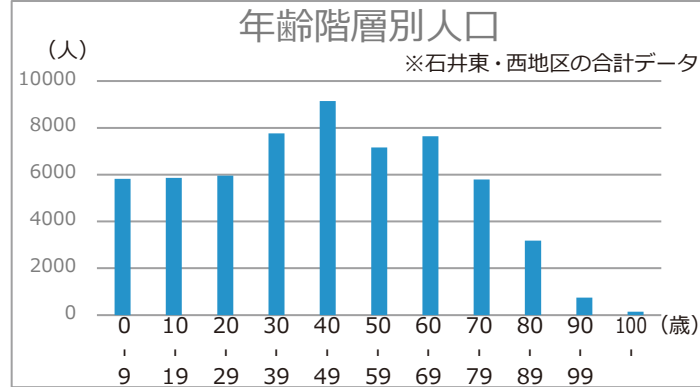


【地区の特色】

石井西地区は、松山市の南部に位置し、北部を西に流れる石手川・小野川、南部を西に流れる重信川・内川に囲まれた肥沃な穀倉地帯として発展してきた。近年、急速に市街化が進行したのは地理的・社会生活上の諸条件にも恵まれているためである。特に、地区の中心部に市道千舟古川線（古川はなみずき通り）や市道北久米和泉線が整備され、市民の散歩道として利用されるほか、松山市保健センター南部分室・南部児童センターが開所され、多くの市民に利用されている。



はなみずき通り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、教育、買い物等、生活環境は整っていて便利で人気のエリアである ・閑静な住宅街が多い ・高齢者の社会参加が活発である ・道路網が整備されており、市内外移動は便利である ・子育てしやすい町づくりに取り組んでいる ・高齢者に優しい取り組みをしている ・近隣高校の生徒が南部児童センターで地域の子どもたちと交流している
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の交通機関がバスしかない為、車の移動が多く道路の渋滞がはげしい ・新しい住宅を建てる土地が少ないので、若い人が入ってこない町がある一方、マンションや新興住宅が増え、若い人が増えている町もある ・人と人との関わりが希薄である ・観光資源が少ない ・空き家が増えてきている ・高齢化が進んでいるが対策が追いついていない
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民の人間関係が希薄になり、世代間の交流も少なくなっている ・子どもの減少、遊び場が少なくなっている ・避難所が少ない ・町内会などが実施する地域行事への若い世代の参加が少なく、町内への関心も遠のいている ・町内の担い手（町内の役員や民生委員など）が育たない ・個人情報保護が壁になり、障がい者、ひとり親家庭など手助けがしにくい ・町内放送、防災無線が聞こえにくい ・防災対策が進んでいない

石井西地区社会福祉協議会

石井西 やすらぎのまち 愛の町

<拠点> 松山市居相 1 丁目 8-26 石井支所 2F TEL：089-956-0248 / FAX：089-958-9962

構成団体	地区民協・公民館・町内会・まちづくり協議会
主な取り組み	活動内容
各種講座の開催と周知	認知症サポーター養成講座や脳トレサロンの実施、福祉講座を開催しています。年 3 回 36,000 部発行の福祉だよりにて周知・啓発・報告をし理解者の拡大に努めています。
災害に備えた取り組み	避難行動要支援者名簿の作成と更新及び「無事ですフラッグ」を利用した安否確認を防災訓練時に実施しています。
高齢者の社会参加や交流の促進	ふれあい・いきいきサロン、健康マージャン脳トレ教室、福祉交流会の開催をしています。

認知症キッズサポーター養成講座+(プラス)

各町で行っている認知症サポーター養成講座を新たに 30 年度より小学 4 年生を対象に開催しました。講義や DVD を通して認知症について学んだ後、地域の方が認知症高齢者に扮し、実際に声かけ訓練を行います。声をかけるタイミングなどを考えながら子どもたちの総合的な学習となります。



<地区社協が目指すもの>

石井西地区では近年、南環状線・はなみずき通りなど道路網が整備され、市街化が進み町の雰囲気は急速に変わってきました。このような地区の特性を考慮し、「石井西 やすらぎのまち 愛の町」を基本理念として、人と人のつながりの再構築に取り組みます。また、松山市社協の企画・提案を取り入れつつ、まちづくり協議会や町内会・その他関係機関・団体とも連携・協働して各町の実情に応じた柔軟な福祉活動を計画・企画・実施します。そして、住民誰もが心豊かに安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	44 名 3 名	■町内会・自治会・区長会等	11 団体
	■まち協の設立	平成 23 年度	■高齢クラブ ■子ども会	17 クラブ 11 団体
			■自主防災組織	19 組織

本地区では小学生を対象にした認知症キッズサポーターの養成の際に、地域の方が高齢者役を担ったワークも実施しています。本養成講座は地域内の世代間交流にもつながる貴重な生涯学習の場だといえます。このように、地区社協ではより良い事業運営を図るために、住民座談会の意見や事業参加者からのアンケートをもとに事業の効果や必要性の可視化を導入し、検証し深めて改善をするなど、仕組みを有効に活かしながら事業を展開しています。新興住宅の増加による人間関係の希薄化の課題はありますが、社会参加が活発である高齢者の力も借りながら、地域の変化に合わせた新しい形を見せていただきたくなる地区です。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

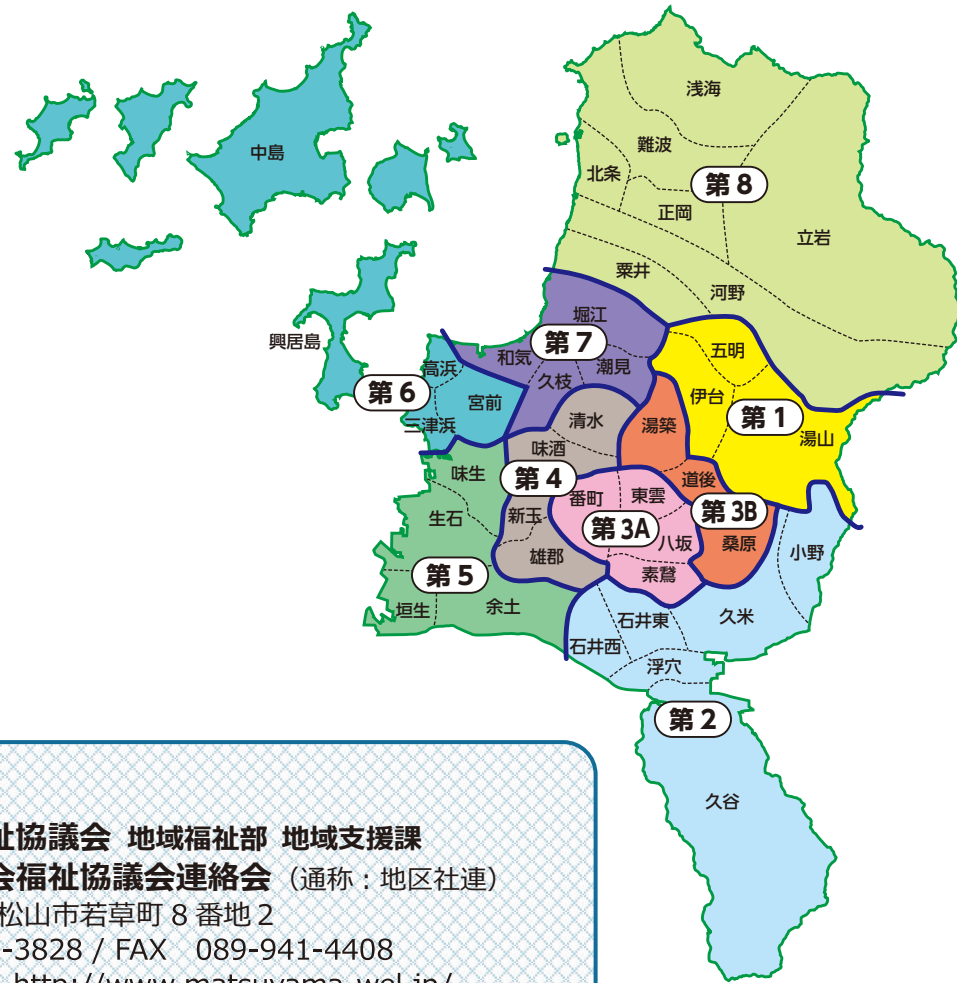
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称:地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏